



第一礼拝次第

説教：仲本貴子師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「我らは勝利者」 「わが魂の羊飼い」	〃	
聖書朗読	マタイ 22:34-40	司会	
祈禱	(新約聖書 p44)	〃	
特別賛美	学生会		
賛美	284	会衆	
説教	「重荷から感謝へ」	牧師	
祈禱			
賛献	新生652	会衆	
報告		司会	
頌祝	新生672B	会衆	
		牧師	

<巻頭言>

国内宣教師の働き

牧師 仲本貴子

宣教師は、国外宣教師と国内宣教師があり、所属する教会や団体から派遣されて国内や国外で働きます。今年私は、国内宣教師の奉仕を始めました。多くの教会が牧師一人で、説教、学び会、カウンセリング、地域との連携、連盟、その他外部の働きを抱え、休暇どころか病気になっても休めない現実があります。そのような教会をサポートする働きから始める思いが与えられ、所属教会も快く送り出して下さり、神学校を卒業後4月から教派を超えていくつかの教会や集会でメッセージや学びの働きをしています。

この働きの目的の一つは、直接的には教会のサポートです。もう一つの目的は、長い道のりですが、沖縄の教会が、教派や教理の違いを持ちつつも、主にある兄弟姉妹として結びつき、主にある教会としてつながって一つになることです。故翁長雄志前知事は、「腹八分ではなく腹六分でつながろう」と呼びかけられ、ウチナンチュの心をアイデンティティをキーワードに掲げて一つにされました。私たちが、キリストにある者であるならば、キリストンチュとして一つにつながることは可能であり必然だと思われます。神がどれほど私たちを愛してくださっているのかを、聖書を通して知っていく時、キリストが人と人との、教会と教会との、すべての隔ての壁を壊されひとつにされます。そのための小さなサポーターとして働いていきたいと願っています。今、胡屋教会に置かれ、早天祈禱会、祈禱会、おちぼ、ラザロ、など多くの交わりと学びからいただく恵みに心から感謝しています。



第二礼拝

説教：渡真利彦文牧師

司会：仲本貴子師

聖書：コリント第一 13:13 (新約聖書 p317)
 説教：「大切なもの」
 プレイズ：「いのちの光」「なんと素晴らしい」
 賛美：新生131 新生300



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：仲本貴子師

聖書：創世記 41:37~57

メッセージ：「この国で亜麻布の衣服を着て」